

診療実績【回復期リハビリテーション病棟 3階東病棟】

2024年1月～2024年6月

病床数 ----- 40床	入院数 ----- 67件	平均在棟日数* ----- 89.7日
施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料3	退院数 ----- 62件	平均年齢 ----- 81.8歳

診療実績【回復期リハビリテーション病棟 3階西病棟】

2024年1月～2024年6月

病床数 ----- 40床	入院数 ----- 75件	平均在棟日数* ----- 67.2日
施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料3	退院数 ----- 69件	平均年齢 ----- 80.2歳

診療実績【回復期リハビリテーション病棟 4階病棟】

2024年1月～2024年6月

病床数 ----- 60床	入院数 ----- 119件	平均在棟日数* ----- 73.6日
施設基準 ----- 回復期リハビリテーション病棟入院料1	退院数 ----- 110件	平均年齢 ----- 81.8歳

*平均在棟日数：実績算定の対象となった患者のみ

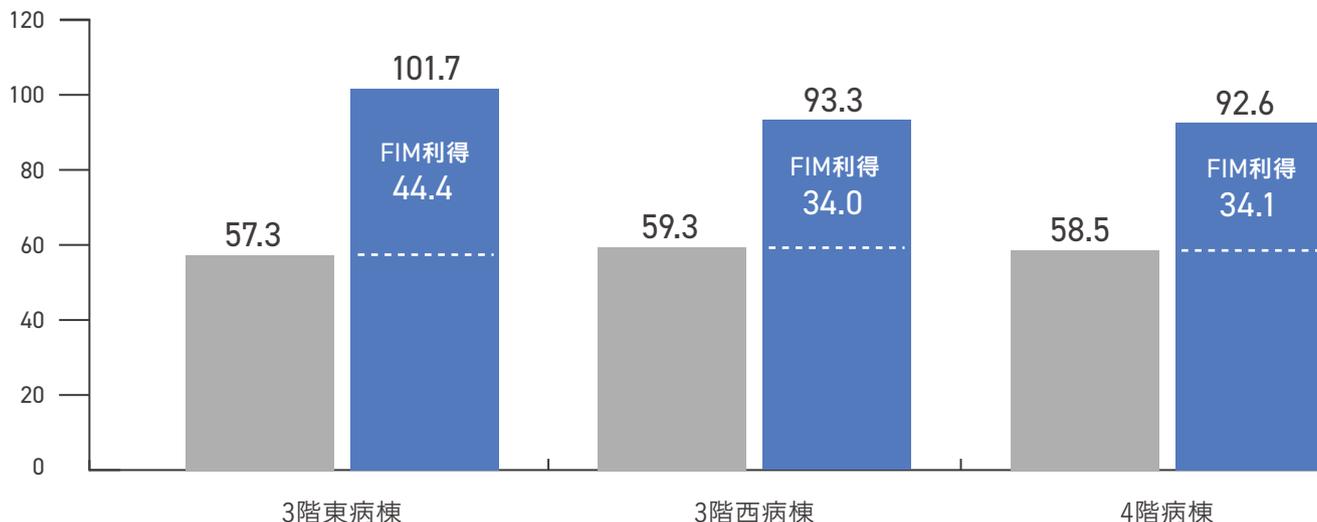
病棟別FIM

2024年1月～2024年6月

機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）の略で、日常生活動作をみる検査法です。
運動項目13項目、認知項目5項目で構成されており、合計点が高いほど日常生活の自立度が高いことを示します。

全国平均FIM利得 [2023年度]：24.9

■	入院時
■	退院時



回復期リハビリテーション病棟の実績指数

2024年1月～2024年6月

51.7

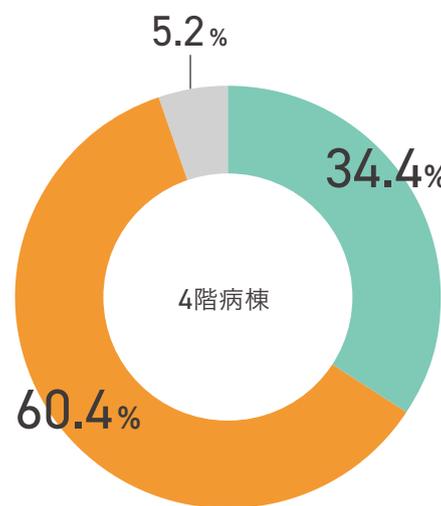
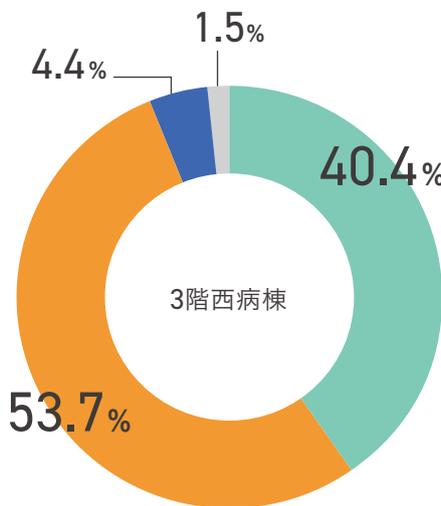
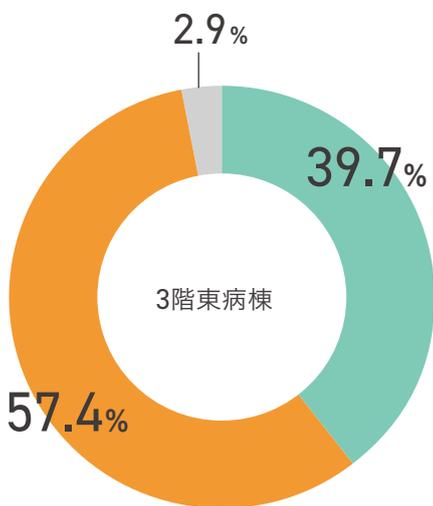
(基準値40以上)

厚生労働省により、質の高いリハビリを提供している回復期リハビリテーション病棟を評価する方法として『実績指数』が用いられています。実績指数は、入院している期間が短ければ短いほど、またADL（日常生活動作）の改善度が大きいほど高くなります。厚生労働省の定める質の高い病院の基準として、40以上を基準としています。

疾患別割合

2024年4月～2024年6月

- 脳血管疾患等*の発症後・手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態
- 運動器**の骨折の発症後又は手術後の状態
- 外科手術又は治療時の安静による廃用症候群
- 運動器**の神経、筋又は靭帯損傷後の状態
- 股関節又は膝関節の置換術後の状態
- 急性発症した心大血管疾患又は手術後の状態



*脳血管疾患等：脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等
**運動器：大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節

在宅復帰率

2024年1月～2024年6月

自宅等へ退院された患者さまの割合です。

回復期リハビリテーション病棟1.3の施設基準では、70%以上の在宅復帰率が求められます。（全国平均：78.1%）

3階東病棟

85.5%

3階西病棟

84.1%

4階病棟

82.7%

退棟患者数

2024年4月～2024年6月

回復期リハビリテーション病棟より退院・転棟された患者さまの人数です。

3階東病棟

40 件

3階西病棟

42 件

4階病棟

65 件